

令和7年 10月6日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校
校長 横山 博文

校長便り（花便り） 第9号

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

9月19日・20日と二日間にわたり開催しました本校文化祭には、大勢の保護者の皆様もご来校いただき、ありがとうございました。特に二日目の20日は、生徒の要望を受けて「制限なしでの一般来場」とした効果で、約600名の来場者があり、おおいに盛り上がりました。生徒たちの弾ける笑顔、役割に真剣に取り組む姿、普段の校内とは違った充実した空気に包まれた雰囲気、私なりにとても満足した一日でした。とは言え、その賑わいを様々な形で支えて頂いたPTA役員の皆様をはじめ、多くの保護者の皆様、そして生徒と一緒に各係の仕事を担当していただいた教職員に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして例年より一週間早い第2学期の中間考査も終わり、校内は秋の爽やかな空気と静けさを取り戻しています。ここからは、今年度の後半に向けて、一年間の頑張りを結果に結び付けていく、そんな期間になっていきます。特に3年生は、既に始まっている就職希望者の入社試験が佳境を迎えており、一人でも多くの合格者が出るよう願っております。また、大学・短大・専門学校進学希望者も、AO入試の出願は始まっており、これ以降、指定校推薦入試、そして大学共通テスト、一般入試と、季節の進行とともに、春からの新しい出発に向けての準備が本格化します。

自然界に目を向けると、秋に紅葉する広葉樹はこの時期から、葉を落とすために根から水を吸収するのをやめ、冬の準備に入ります。その結果、葉の中のわずかな糖分が変化し、赤や黄色に色づくそうです。自然界の営みは、常に季節を先取りして静かに進行していることを感慨深く、考えさせられます。ただ、その意味にあてはめると、3年生の卒業後に向けた今からの受験という試練も、当てはまるのだと思います。新たな始まりに向けて、しっかりと確実に、準備をしてほしいと願っています。

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、今年も何とか彼岸を機に、少し涼しさを感じられるようになりました。彼岸花も終わりかけ、これからが秋本番です。行楽シーズン到来、少しでもご家族での楽しいひと時が増えることを願っております。

最後に、今年度は「学校を楽しく」をモットーに様々な改革を進めておりますが、その流れを受けて、ハロウィンのイベントを計画中です。詳細が固まり次第、お子様を通じてお知らせします。楽しみにお待ちしております。